

# 令和6年度(2024年度) 函館市地域包括支援センター 活動実績について

函館市保健福祉部  
地域包括ケア推進課

# 令和6年度 函館市地域包括支援センター運営方針

## ＜重点課題＞

**地域で生活する人々が高齢者を見守るとともに、誰かが異変に気づいたら相談できる地域づくりを行う**

## ＜重点取組事項＞

- (1) 高齢者と関わりが少ない関係機関への地域包括支援センターの周知の強化
- (2) 高齢者虐待防止に関する啓発の強化
- (3) 地域住民に対する認知症の正しい理解と地域の見守りについての普及啓発
- (4) 住民主体の助け合い活動に参加する高齢者を増やすための意識醸成

# 高齢者と関わりが少ない関係機関への 地域包括支援センターの周知の強化

## ○ 住民に対する広報・啓発

(回, 人)

種 別	R4	R5	R6
<b>広報・啓発回数</b>	<b>392</b>	<b>490</b>	<b>489</b>
広報紙の発行	23	23	22
リーフレット等の配布	197	238	235
出前講座・講師派遣	150	191	192
認知症サポーター養成講座	22	38	40
<b>対象者数（広報紙の発行は除く）</b>	<b>7,068</b>	<b>8,388</b>	<b>9,140</b>
一般市民（民生委員，町会，在宅福祉委員含む）	5,164	5,656	5,940
医療機関職員	8	113	80
その他（民間企業等）	1,896	2,619	3,120

※全戸配布した数を除く



# <地域包括支援センター亀田ホームページ>

アクセス

0138-40-7755

函館市地域包括支援センター亀田

お問い合わせ

活動報告

採用情報

重要事項説明

世代を問わない  
困りごとを抱える人の  
相談窓口です

🕒 8:45~17:30

📅 月曜日~土曜日(祝祭日・年末年始は除く)

🏠 自立相談支援機関は土曜日はお休み

📍 函館市昭和1丁目23-8

📞 0138-40-7755

自立相談支援機関への  
メール・LINE相談はこちら

instagramで活動報告中



Instagramを掲載

LINE相談につながる  
ようになっている



# < 地域包括支援センター 亀田 Instagram >

## < houkatsu\_kameda



函館市地域包括支援センター 亀田

17  
投稿

フォロワー

フォロー中

函館市から委託を受けている、世代を問わない、困りごとを抱える人の相談窓口です。

【営業日時】月～土 8:45～17:30 ※祝日除く... 続きを読む  
昭和1-23-8, Hakodate, Hokkaido

[hakodate-kameda-hp.com/supportcenter](http://hakodate-kameda-hp.com/supportcenter)

フォロー

メッセージ

電話する



R7年度



R6年度



広報紙



認知症事業



投稿

houkatsu\_kameda

フォロー



houkatsu\_kameda



10



houkatsu\_kameda .

函館市地域包括支援センター 亀田です。  
函館市より委託を受けている、世代を問わない困りごとを抱える人の相談窓口です。

「介護のこと」「健康のこと」「物忘れが気になる」などの高齢分野の相談に加え、「生活の困りごと」「家計に不安がある」「相談先がわからない」などの相談もお受けします。

# < 地域包括支援センターこん中央Instagram >

< kontyuuou ...



函館市地域包括支援センターこん中央

248  
投稿

フォロー

フォロー中

コミュニティ

函館市地域包括支援センターこん中央です。「あらゆる世代、みんなの福祉相談窓口」として令和4年度から自立相談支援が加わりリニューアルスタートしました！高齢者だけではなく、生活困窮者自立支援、孤立... 続きを読む

[liff.line.me/1645278921-kWRPP32q/?acco...](https://liff.line.me/1645278921-kWRPP32q/?acco...)

📍 kontyuuou 新規1件・

フォロー

メッセージ

+0



スマホはと...



ラジオ体操部



ラジオ体操...



宇賀浦町会...



ラジオ



投稿  
kontyuuou

フォロー



kontyuuou  
6月13日

...



36



kontyuuou おはなしカフェを開催しました。昨年度開催し、第2弾です。今回も和気あいあいでもレベルアップ！でした。



# 高齢者と関わりが少ない関係機関への 地域包括支援センターの周知の強化

## ○ 総合相談対応状況

(件)

### ・ 総合相談実件数

年度	相談実件数
R4	10,023
R5	10,362
R6	10,314

### ・ 関係機関からの相談件数（重複あり）

(件)

年度	介護支援専門員	介護保険事業所	医療機関	民間企業	その他
R4	1,832	509	1,097	176	226
R5	2,329	576	1,222	147	259
R6	2,209	653	1,160	214	253

# 高齢者と関わりが少ない関係機関への 地域包括支援センターの周知の強化

- ・各地域包括支援センターでは、定期的に広報紙を発行し、高齢者との関わりが少ないと考えられる民間企業、学校等に配布することで、センターの役割等の周知に努めている。
- ・広報紙以外の方法を用いての周知について、配布対象者数が増加しており、各地域包括支援センターが積極的に広報、啓発を行っていることがわかる。
- ・総合相談実件数は令和5年度と比較すると、若干減少しているが、高齢者との関わりが少ない民間企業からの相談は増加している。

**今後も、地域包括支援センターの役割や早期発見等の重要性について、高齢者との関わりが少ない機関への周知を強化し、支援が必要な人を把握した際に、地域包括支援センターに相談することができる人をさらに増やす必要がある。**

# 高齢者虐待防止に関する啓発の強化

## ○ 権利擁護業務相談対応状況

(人, 件)

年度	対象者数	虐待事例 (再)
R4	279	110
R5	323	149
R6	283	139

## ・相談通報者の内訳 (一部項目のみ記載)

(件)

年度	親族・家族	民生児童委員	知人・近隣	介護支援 専門員	医療機関
R4	57	-	11	69	30
R5	61	13	9	69	28
R6	51	13	10	80	30

# 高齢者虐待防止に関する啓発の強化

## ○ 住民に対する広報・啓発活動

・ 高齢者虐待防止

(回)

年度	高齢者虐待防止	
	出前講座 講師派遣	広報紙 リーフレット配布
R4	14	37
R5	27	100
R6	28	60

# 高齢者虐待防止に関する啓発の強化

・相談通報者の内訳は、「介護支援専門員」からの相談が令和5年度と比較すると増加しており、高齢者の異変に気づく可能性の高い立場にある地域の支援者との連携強化が、成果につながっていることと考えられる。

高齢者が住み慣れた地域で安心して在宅生活を継続するためには、異変を早期に発見できる、地域の見守りがとても重要であり、今後も、問題を抱えた高齢者等への早期支援につなげるため、高齢者虐待防止に関する啓発の強化を継続していく必要がある。

# 地域住民に対する認知症の正しい理解と 地域の見守りについての普及啓発

## ○ 住民に対する広報・啓発活動

・ 広報・啓発回数

(回)

年度	認知症	認知症サポーター 養成講座	地域の見守り
R4	112	22	63
R5	216	38	93
R6	177	41	148

※「認知症」「地域見守り」は「出前講座・講師派遣」と「広報紙・リーフレット配布」を合わせた回数

## ○ 認知症カフェ開催状況（センターが開催または後方支援したもの）

(か所, 回)

年度	設置数	開催回数
R4	6	10
R5	8	23
R6	13	29

# 地域住民に対する認知症の正しい理解と 地域の見守りについての普及啓発

・認知症についての広報・啓発については、令和5年度と比較して「認知症」は減少し、「認知症サポーター養成講座」「地域の見守り」は増加しており、認知症の方を支える視点での啓発が行われている。

・「認知症カフェ」の設置数、開催回数も増加しており、「認知症」についての普及啓発が積極的に行われている。

・今後も、地域住民に対し、幅広く認知症の正しい理解および地域の見守りの重要性についての啓発活動を行うとともに、認知症の方や家族が参加する「認知症カフェ」を継続して取り組んでいく必要があると考えております。

# 住民主体の助け合い活動に参加する高齢者を 増やすための意識醸成

## ○ 住民主体の助け合い活動等の重要性についての普及啓発

(回)

年度	出前講座等	広報紙・リーフレット
R4	33	36
R5	32	29
R6	37	71

## ○ 助け合い活動等の創出・充実のための支援状況

(件, 回)

年度	団体数	支援回数
R4	46	246
R5	70	367
R6	83	399

# 住民主体の助け合い活動に参加する高齢者を 増やすための意識醸成

- ・地域住民に対して広報紙やリーフレットを活用し、社会参加や住民主体の助け合い活動の重要性について、意識して啓発することができている。
- ・助け合い活動等の創出、充実のための支援状況は、団体数、支援回数ともに増加しており、各地域包括支援センターが積極的に支援し、取り組んでいることがわかる。

今後も、既存の活動を維持し、住民主体の助け合い活動についての意識醸成を行うことで、活動に参加する高齢者等を増やしていくことが必要である。